

日時	平成 26 年 11 月 22 日(土) 14:00～16:30
派遣先	市川学園市川高等学校 SSH 課題研究交流会
<p>14:00～14:30 タイの留学生による自国紹介プレゼンテーション</p> <p>市川学園に交換留学制度で来ていたタイの高校からの留学生（女生徒 5 名）がスライドを用いてプレゼンテーションを行った。タイの国について観光地や名産を挙げて紹介するとともに、自分の高校についても行事などを挙げながら紹介していた。留学生メンバーはそのプレゼンテーションを真剣に聞いていた。</p> <p>14:30～15:15 グループ A 発表 15:15～16:00 グループ B 発表</p> <p>千葉県中央地区の SSH より集まった高校生が発表グループを前半と後半の 2 つに分け、ポスターセッションを行った。テーマは物理・地学・数学・化学・生物の 5 分野に基づくもので行われた。日本語発表が 119 班、英語発表が 45 班あり、日本語発表者は廊下で、英語発表者は 2 教室で行った。なお、前述のタイの留学生も英語発表者としてポスターセッションを行っている。留学生メンバーの物理学専攻者は発表者に積極的に質問をする姿が見られ、また教育学専攻者は日本語発表にまで足をのぼし発表を聞いていた。</p> <p>16:10～16:30 タイの留学生による伝統舞踊の発表</p> <p>タイの交換留学生が自国の伝統的な踊りを発表していた。留学生メンバーはその様子をじっと鑑賞していた。</p>	
	
派遣先教員 コメント	当日は 30 名程度と予想していた英語発表者が、100 名を超えました。それ故に先生方のお力を得なければ、内輪の発表会で、気がゆるむことが予想されました。しかし、おかげさまで何とか乗り切ることが出来ました。
留学生 コメント	Basically I think the school looks like can facilitated the student very good.
学生リーダー コメント	「聞く」、「見る」という受動的な活動が多かったことと、専門的な内容であったため留学生メンバーの中には退屈に感じられた者もいたようだ。留学生メンバーと高校生の交流をはかる場というわけではなかったため、積極的なコミュニケーションが双方ともに見られることは乏しかった。